

平成30年度
事業報告
(案)

一般社団法人 日本工業用水協会

目次

1. 会 務	1
(1) 会員の現況	1
(2) 総会	1
(3) 理事会	3
(4) 監事会	4
(5) 協会運営委員会	5
2. 工業用水道事業の推進	6
(1) 平成31年度工業用水道事業施策に関する要望	6
3. 事 業	7
(1) 調査研究業務	7
(2) 出版に関する事業	10
(3) 工業用水道管・弁類等製造事業場の認定に関する事業	13
(4) 工業用水道保険事業	13

1. 会 務

(1) 会員の現況

平成31年3月31日現在の会員は、下表に示すとおりである。

会 員 別	会 員 数	30年度	
		入 会 者	退 会 者
正会員	136	1	4
事業者	120	1	2
利用者	16	0	2
特別会員	39	0	2
関連産業会員	37	1	0
名誉会員	5		
計	217	2	6

顧問：4名（内名誉会員が3名）（議決権対象は212会員）

(2) 総会

(2) . 1 臨時総会

日 時 平成30年4月26日（木）13：30～13：40

場 所 日本工業用水協会 会議室

会員数 217会員（平成30年4月1日現在）

出席会員 1社員

代理出席会員 13社員

委任状提出会員 3社員

議決権行使会員 155社員

計 172社員

次 第 挨拶

議 題

議案 理事5名の選任（案）

概 要

代表理事の岩井専務理事から、定時総会で決議された総会運営要領に基づいて、会長代理の千葉県水道局松宗工業用水部次長を議長として提案し、出席会員全員から異議なしの発言があり、松宗工業用水部次長が議長に選出された。

議長から、議事の開会宣言後、出席状況について事務局に報告を求め、臨時総会の成立が報告された。引き続き議事録署名人の選任について、議長一任の発言に基づき、議長のほか、理事の一般財団法人造水促進センター中村総務部長、株式会社クボタパイプシステム事業推進部藤岡担当部長を議長から指名した。

議長の求めにより、岩井専務理事から現役員の現職退任等に伴う理事及び監事辞任により、定款第22条第1項に基づき、次の理事5名の選任を求めた。

議長は、役員候補者ごとに決議を行い、それぞれ異議なく承認可決され、候補者全員が原案のとおり選任された。

理事 岡本 和貴殿、松井 圭介殿、茅根 継雄殿
角本 雅宣殿、神 昭雄殿

(2) . 2 第6回定時総会

日 時 平成30年6月8日(金) 14:00～16:35
場 所 東京都文京区湯島(東京ガーデンパレス 3階 平安の間)
会員数 211会員(平成30年6月8日現在)
出席会員数 出席会員 9社員
代理出席会員 25社員
委任状提出会員 105社員
議決権行使会員 46社員
計 185社員

来 賓 経済産業省地域産業基盤整備課 佐々木工業用水道計画官ほか1名
総務省公営企業経営室 本島室長 ほか1名
国土交通省水資源政策課 柳井企画専門官
関東経済産業局企業立地支援課 長島課長補佐
(公社)日本水道協会 大貫総務部長
(一社)日本水道工業団体連合会 宮崎専務理事 ほか1名

次 第 会長挨拶
来賓祝辞
会長表彰
議 題
I 議案
第1号議案 平成29年度事業報告(案)
第2号議案 平成29年度決算報告書(案)及び監査報告書
II 報告事項
(1) 平成30年度事業計画及び平成29年度収支予算書
(2) 平成31年度工業用水道事業施策に関する要望事項
講演 東京国税局課税第2部消費税課軽減税率制度係国税実査官
山田 大 様

概 要

会長の岡本千葉県水道局長の挨拶に引き続き、ご来賓として出席いただいた経済産業省田川地域経済産業政策統括調整官(代理.佐々木工業用水道計画官)、総務省黒田自治財政局長(代理.本島公営企業経営室長)、国土交通省水管理・国土保全局黒川水資源部長(代理.柳井水資源政策課企画専門官)のご祝辞を賜った。このほかご来賓として出席いただいた方々等のご紹介を行った。引き続き会長表彰として功労賞6名、勤続賞112名のうち、当日参加の方々の表彰状授与式が執り行われた。

岡本会長が議長となって、議事の開会宣言後、議長から出席状況について事務局に報告を求め、総会成立が報告された。引き続き議事録署名人について、議長一任の発言に基づき、議長のほか一般財団法人造水促進センター平井顧問、大成機工株式会社鈴木代表取締役社長を議長から指名した。

各議案につて、議長から事務局に議案ごとの説明を求め、岩井専務理事が説明を行い各議案の承認を求めた。審議が行われ議案ごと決議され、すべて原案どお

りに了承された。

最後に、東京国税局課税第2部消費税課軽減税率制度係国税実査官山田様から「よくわかる消費税軽減税率制度」について講演が行われた。

(3) 理事会

(3) . 1 第33回理事会（書面審議）

日 時 平成30年3月30日

議 題 平成30年度臨時総会の招集に係る提案

定款第36条に基づき、役員に対し伊藤会長名で、臨時総会招集承認に係る書面決議を提案し、3月29日に、理事全員の同意書、監事全員の通知書を受領し、書面による決議が成立。

(3) . 2 第34回理事会（書面審議）

日 時 平成30年5月10日

議 題 代表理事（会長、副会長）の選定に係る提案

定款第36条に基づき、役員に対し岩井専務理事名で、代表理事（会長、副会長）選定承認に係る書面決議を提案し、5月10日に、理事全員の同意書、監事全員の通知書を受領し、書面による決議が成立。

代表理事 会長 岡本和貴 殿

代表理事 副会長 松井圭介 殿

(3) . 3 第35回理事会

日 時 平成30年5月18日（金）14:00～14:55

場 所 東京都文京区湯島（東京ガーデンパレス 3階 鶴の間）

出席者 会長（代表理事）千葉県岡本水道局長 ほかに20名
うち理事11名（総数13名、平成30年5月17日現在）
監事 1名（総数 3名、平成30年5月17日現在）

来 賓 経済産業省地域産業基盤整備課 佐々木工業用水道計画官

次 第 会長挨拶

来賓紹介

議 題

I 議案

第1号議案 平成29年度事業報告（案）

第2号議案 平成29年度決算報告書（案）及び監査報告書

第3号議案 入会の承認（案）

第4号議案 会長表彰受賞候補者の選考（案）

第5号議案 平成31年度工業用水道事業施策に関する要望事項及び実施（案）

第6号議案 平成30年度第6回定時総会招集及び議題並びに議案概要（案）

II 報告事項

(1) 平成29、30年度のこれまでの事業経過報告

概 要

会長の岡本千葉県水道局長の挨拶に続き、ご来賓として出席いただいた経済産業省地域産業基盤整備課佐々木工業用水道計画官からご挨拶をいただいた。

岡本会長が議長となって議事に入り、事務局から各議案について説明を行い、各議案について質疑応答の後、全員異議なく原案のとおり了承された。

(3) . 4 第36回理事会

日 時 平成31年1月29日 14:00～14:45

場 所 東京都千代田区九段北（アルカディア市ヶ谷 7階 妙高）

出席者 会長（代表理事）岡本千葉県水道局長 ほかに26名
うち理事11名（総数13名、平成31年1月28日現在）
監事 3名（総数 3名、平成31年1月28日現在）

来 賓 経済産業省地域産業基盤整備課 佐々木工業用水道計画官 ほかに1名

次 第 会長挨拶

来賓紹介

議 題

I 議案

第1号議案 平成31年度事業計画（案）

第2号議案 平成31年度収支予算書（案）

第3号議案 役員改選（案）について

第4号議案 入会の承認（案）

II 報告事項

(1) 平成31年度工業用水道事業研究大会の東京開催について

(2) 平成30年度のこれまでの事業経過報告

(3) 各種委員会等報告について

概 要

会長の岡本千葉県水道局長の挨拶に続き、ご来賓として出席いただいた経済産業省地域産業基盤整備課佐々木工業用水道計画官からご挨拶をいただいた。引き続き同課笹本係長の紹介を行った。

岡本会長が議長となって議事に入り、事務局から各議案について説明を行い、各議案について質疑応答の後、全員異議なく原案のとおり了承された。

(4) 監事会

日 時 平成30年4月24日（火）14:00～15:30

場 所 日本工業用水協会 会議室

出席者 福島県企業局 青山工業用水道課長

岡山県企業局 大塚局長

大成機工株式会社 鈴木代表取締役社長

概 要

定款第24条（監事の職務及び権限）に基づき、監事会で監事による平成29年度事業報告、決算報告書の監査が行われ、会長宛に、それぞれ適正である旨の監査報告書が提出された。

(5) 協会運営委員会

(5) . 1 平成30年度第1回協会運営委員会

日 時 平成30年4月26日(木) 14:00~15:25

場 所 日本工業用水協会 会議室

出席者 委員長 千葉県水道局工業用水部松宗次長 ほか22名

オブザーバー 経済産業省地域産業基盤整備課 佐々木工業用水道計画官

次 第 開 会

議 題

- 1) 協会運営委員会(平成29年度第2回)議事録(案)について
- 2) 第35回理事会提出議案について
- 3) その他

概 要

岩井専務理事の開会の挨拶に引き続き、経済産業省地域産業基盤整備課佐々木工業用水道計画官から挨拶をいただいた。

松宗千葉県水道局工業用水部次長が委員長となり、委員長挨拶に引き続き、次第に従い議題の審議が行われた。

その結果、前回議事録を含め、すべて原案どおり了承され、理事会にはかることとした。

(5) . 2 平成30年度第2回協会運営委員会

日 時 平成30年12月20日(木) 14:00~15:10

場 所 日本工業用水協会 会議室

出席者 委員長 千葉県水道局工業用水部柴田部長 ほか18名

オブザーバー 経済産業省地域産業基盤整備課 佐々木工業用水道計画官

次 第 開 会

議 題

- 1) 第36回理事会提出議案について
 - (1) 平成31年度事業計画(案)
 - (2) 平成31年度収支予算書(案)
 - (3) 役員改選(案)について
- 2) その他(報告事項について)
 - ① 平成31年度工業用水道事業研究大会の東京開催について
 - ② 平成30年度のこれまでの事業経過報告について
 - ③ 各種委員会報告について
 - ④ 工業用水道管及び弁類等の検査のあり方について
 - ⑤ 役員改正に伴う常設委員会の構成について

概 要

岩井専務理事の開会の挨拶に引き続き、経済産業省地域産業基盤整備課佐々木工業用水道計画官から挨拶をいただいた。

柴田千葉県水道局工業用水部長が委員長となり、委員長挨拶に引き続き、次第に従い議題の審議が行われた。

その結果、すべて原案どおり了承され、理事会にはかることとした。

2. 工業用水道事業の推進

(1) 平成31年度工業用水道事業施策に関する要望

日 時 平成30年7月27日（金）

参加者 会長千葉県岡本水道局長、愛知県小瀬村技術監、ほか14名

概 要

第35回理事会で承認された要望事項等について、正副会長、役員、事務局代表で構成する要望団により、経済産業省、総務省、国土交通省水管理・国土保全局等へ要望を行った。なお、経済産業省では、高橋地域経済産業政策統括調整官、守山課長、佐々木工業用水道計画官等との意見交換を行った。

3. 事業

(1) 調査研究業務

(1) . 1 工業用水道事業研究大会

日 時 平成30年10月11日(木)、12日(金)

場 所 山口県ホテルかめ福(2階 ロイヤルホール)

参加者 160名

来 賓 経済産業省地域産業基盤整備課 佐々木工業用水道計画官ほか3名
中国経済産業局産業部産業振興課 南川総括係長
総務省公営企業経営室 林下課長補佐

概 要

開会挨拶の後、山口県小松公営企業管理者から歓迎の挨拶があり、次いでご来賓としてご出席をいただいた総務省林下公営企業経営室課長補佐並びに経済産業省佐々木工業用水道計画官からご挨拶をいただいた。事務局より大会の運営方法を報告し了承を得た。

1日目の午前中は、指定課題1の「管路の更新・維持管理等に係る対応について」及び指定課題の3「ダウンサイジングにより発生した未使用水源の有効利用方法について」について、山口県企業局河野電気工水課長が座長となって進められた。最初に事務局からアンケート結果の報告、次いで愛知県企業庁、千葉県水道局から事例紹介が行われ、質疑応答・意見交換が行われた。

午後の前半は、「オランダ及びドイツにおけるアセットマネジメントに関する調査」について千葉県水道局工業用水部施設設備課林課長、武田副主査から講演をいただいた。

その後、指定課題2の「未契約水量に係る取り組みについて」及び指定課題の4「渇水対策について(技術面・経営面)」並びに自由課題1～2について、岡山県企業局経営推進室林主幹が座長となって進められた。最初に事務局からアンケート結果の報告、次いで山口県企業局から2件の事例紹介が行われ、質疑応答・意見交換が行われた。

その後、経済産業省、総務省、小泉先生、大瀧先生からアドバイス、講評等をいただいた。

その後、関連産業会員の技術情報発表として、(株)クボタ、日本ヴィクトリック(株)、ダイセン・メンブレン・システムズ(株)からそれぞれ発表が行われた。

2日目は、宇部興産(株)(UBE-i-Plaza, 宇部興産専用道路)、宇部丸山ダム及び山口ゆめ花博をそれぞれ視察し、2日間の大会を盛会裡に終了した。

(1) . 2 第54回研究発表会

日 時 平成31年2月27日(水)、28日(木)

場 所 東京都千代田区市ヶ谷(自動車会館 大会議室)

参加者 一般参加者約87名、発表者等37名

来 賓 経済産業省地域産業基盤整備課 佐々木工業用水道計画官

概 要

小泉編集委員長の挨拶及び経済産業省佐々木工業用水道計画官からご挨拶をいただいた。その後、会長代理小泉委員長から、論文賞「運営効率化に寄与するICT応用運転維持管理」の株式会社日立製作所に賞状等が贈られた。続いて日刊工業新聞社賞が「高耐久かつ災害にも強いダイヤフラム型排泥弁「F弁/FVR型」の開発」の水ingエンジニアリング株式会社と「伸縮可とう管用変位計測装置」

についての日本ヴィクトリック株式会社へ日刊工業新聞社仲谷総務部長から賞状等が贈られた。

続いて研究発表に入り、上記受賞記念講演のほか16件の研究発表があり活発な質疑応答が行われた。

(1) . 3 経営委員会・技術委員会（合同委員会）

日 時 平成30年5月15日（火）15:00～16:45

場 所 TKP ガーデンシティ御茶ノ水 2階 2C会議室

出席者 経営委員会委員長 茨城県企業局藤澤業務課長、技術委員会委員長 お茶の水女子大学大瀧教授 ほか委員等28名

オブザーバー 経済産業省地域産業基盤整備課 佐々木工業用水道計画官 ほか1名

総務省公営企業経営室 松尾課長補佐（代理：上野事務官）

次 第 開 会

委員の紹介

議 題

1) 平成30年度工業用水道事業研究大会について

(1) 検討課題の選定について

(2) スケジュール・開催（案）

2) 平成31年度工業用水道事業施策要望について

(1) 施策要望項目等について

(2) 要望の手順について

3) その他

概 要

経済産業省佐々木工業用水道計画官、総務省公営企業経営室上野総務事務官からそれぞれご挨拶を頂いた後、藤澤経営委員長、大瀧技術委員長の進行により、各議題について、審議が行われた。

議題1)の審議を大瀧技術委員長の進行で行うこととし、事務局から議題1)の研究大会検討課題について審議の結果、指定課題として1. 管路の更新・維持等に係る対応について、2. 未売水に係る取り組みについて、3. ダウンサイジングにより発生した未使用水源の有効利用方法について、4. 渇水対策についての4件が、自由課題として1. 水質変動等に伴う減免措置について、2. スマートメータの導入についてが選定された。

議題2)の審議を藤澤経営委員長の進行で行い、平成31年度施策要望案をとりまとめ、理事会に諮ることとした。

(1) . 4 平成30年度工業用水道事業におけるPPP/PFI促進事業

(株)NJSが経済産業省より受託した「工業用水道事業におけるPPP/PFI促進事業」について、当協会が協力団体として再委託を受け、各協議等に参加した。

(1) . 5 水道IoT社会実装推進委員会

昨年度より引き続き、(株)三菱総合研究所が経済産業省より受託した「水道IoT社会実装推進委員会」について、委員会委員として委嘱し、委員会に参加した。

第4回委員会 平成30年 9月18日（火）経産省本館2階西3共用会議室

第5回委員会 平成30年12月 7日（金）経産省本館2階西3共用会議室

第6回委員会 平成31年 2月 8日（金）経産省本館2階西3共用会議室

(1) . 6 編集委員会（後述の編集委員会第5回参照）

日 時 平成30年12月14日（金）

場 所 日本工業用水協会 会議室

出席者 小泉委員長 ほか18名

概 要

平成30年会誌掲載の論文の中から論文賞の選考を行うとともに、第54回研究発表会（平成31年2月）の運営、応募発表及び日刊工業新聞社賞の審査、プログラム編成を行った。

(1) . 7 関連産業委員会

(1) . 7 ①関連産業委員会（平成30年度第1回）

日 時 平成30年6月26日（火）16:00～16:35

場 所 日本工業用水協会 会議室

出席者 委員長代理 日本ダクタイトル鉄管協会長岡理事長 ほか委員13名

来 賓 経済産業省地域産業基盤整備課 佐々木工業用水道計画官 他1名

次 第 挨拶

議 題

- 1) 平成29年度事業報告・収支決算、平成30年度事業計画・収支予算について
- 2) 工業用水道事業研究大会における関連産業会員による技術情報の発表の実施方法（案）
- 3) その他

概 要

長岡理事長の挨拶に引き続き、ご来賓の経済産業省地域産業基盤整備課佐々木工業用水道計画官から挨拶を頂いた。引き続き配付資料の確認を行い、各議題について委員長が議事進行を行い、各議題の審議が行われた。

事業・会計報告については、平成29年度関連産業委員会事業報告（案）及び収支決算報告（案）、平成30年度関連産業委員会事業計画（案）及び収支予算（案）がそれぞれ原案どおり了承され、第2回目の委員会を9月初旬～10月の初旬に大分県企業局の協力のもと、工業用水道施設の視察及びユーザーの視察が確認・承認された。

工業用水道事業研究大会における関連産業会員の技術情報の発表及び運営方法については、原案どおりで了承された。また、その他に関連する議案として、会誌「工業用水」へ原稿執筆のお願いについて及び、第54回研究発表会について並びに、備蓄資機材情報システムの運用について、事務局から説明を行った。

(1) . 7 ②関連産業委員会（平成30年度第2回）

日 時 平成30年9月25日（火）、26日（水）

場 所 大分県大分市 ホテル日航大分オアシスタワー

出席者 長岡委員長ほか24名

来 賓 経済産業省地域産業基盤整備課 佐々木工業用水道計画官 ほか3名

次 第 開 会

挨拶

講 演（佐々木工業用水道計画官）

議 題

- 1) 前回議事録の確認について
- 2) 事業研究大会での技術紹介、展示等について

- 3) 会誌「工業用水」へ原稿執筆のお願いについて
- 4) その他、協会事業について

概 要

大分県企業局のご協力を得て1日目は、白滝取水口及び判田浄水場並びに三佐ポンプ場を視察した。

委員会は、地元大分県神企業局長から歓迎の挨拶があり、ご来賓として出席いただいた経済産業省地域産業基盤整備課佐々木工業用水道計画官から、ご挨拶と「工業用水道事業をめぐる動向について」のご講演をいただいた。その後、長岡委員長の進行のもと、各議案について事務局が説明を行い審議が行われ、承認・報告された。

2日目は、王子マテリア(株)大分工場及び新日鐵住金(株)大分製鐵所の見学を行い終了した。

- (1) . 8 その他

- (1) . 8 ①情報の提供関連

平成31年1月に、昨年3月末時点の工業用水道事業者における資機材の備蓄情報を収集整理し、事業者会員はじめ全国の工業用水道事業者、経済産業省及び(独法)水資源機構に情報提供を行った。また昭和52年から平成29年度末までの工業用水道料金の推移を収集整理し、事業者会員を中心に情報提供を行った。

- (1) . 8 ②水道分野における官民連携推進協議会

(厚生労働省、経済産業省、日本水道協会との共催)

概 要

厚生労働省と経済産業省が連携し、水道事業者等と民間事業者との間におけるマッチング促進を目的とした「水道分野における官民連携推進協議会」を、厚労・経産両省主催、日水協・工水協共催で開催した。

開催状況

第1回協議会

平成30年 8月20日(月) さいたま新都心合同庁舎 参加100名

第2回協議会

平成30年10月15日(月) コラッセ福島多目的ホール 参加 95名

第3回協議会

平成30年12月 3日(月) 熊本県庁会議室 参加120名

第4回協議会

平成31年 2月15日(金) 名古屋合同庁舎 参加 87名

- (2) 出版に関する事業

- (2) . 1 編集委員会

- (2) . 1 ①編集委員会(第1回)(平成30年度)

日 時 平成30年4月17日(火) 15:00~16:15

場 所 日本工業用水協会 会議室

出席者 小泉委員長 ほか委員等18名

オブザーバー 総務省公営企業経営室 松尾課長補佐(代理:上野総務事務官)

次 第 開 会

議 題

- 1) 5月号の確認、7月号・9月号の編集について
- 2) その他

概要

新任委員の紹介の後審議に入り、5月号を確認、7・9月号の査読確認、査読担当委員の調整を行った。なお、林副委員長から、「オランダ・ドイツにおける工業用水施設～アセットマネジメントの現状と課題～（仮題）」の技術報告に関連して、オランダの水循環研究所（通称「KWR」）から、寄稿の話があり、会誌に掲載する方向でご検討いただきたいとの要望があり、小泉委員長から査読して問題がなければ掲載することは了承したいとの発言あり、他の委員からも特に意見がなかったことから9月号以降に掲載する予定とした。

(2) . 1 ②編集委員会（第2回）

日時 平成30年6月19日（火）15:00～16:30

場所 日本工業用水協会 会議室

出席者 小泉委員長 ほか委員等20名

オブザーバー 経済産業省地域産業基盤整備課 佐々木工業用水道計画官 ほか1名

総務省公営企業経営室 松尾課長補佐（代理：上野総務事務官）

次第 開 会 議 題

- 1) 7月号の確認、9月号・11月号の編集等について
- 2) その他

概要

新任委員の紹介の後審議に入り、7月号を確認した。また、9月号の査読確認をした。11月号については、水質試験特集の記事投稿を進めるよう依頼した。

また、水質試験方法特集は、これまで25年継続していることから、一つのアーカイブとして残すまとめ版的なものを10数ページ執筆したいとの意見があり、小泉委員長から四半世紀を一読出来ることは、是非とも読みたいので、まとめていただきたいと意見があった。

(2) . 1 ③編集委員会（第3回）

日時 平成30年8月21日（火）15:00～16:10

場所 日本工業用水協会 会議室

出席者 小泉委員長 ほか委員等18名

オブザーバー 経済産業省地域産業基盤整備課 佐々木工業用水道計画官 ほか1名

次第 開 会 議 題

- 1) 9月号の確認、11月号・1月号の編集について
- 2) その他

概要

9月号を確認、11月号について、水質試験特集の査読担当委員を決定した。

1月号については「事業研究大会座長役担当事業体の紹介」として、中国・四国・九州ブロックの役員事業体に執筆を依頼した。

(2) . 1 ④編集委員会（第4回）

日時 平成30年10月18日（木）15:00～16:00

場 所 日本工業用水協会 会議室
出席者 小泉委員長 ほか委員等 18名
オブザーバー 経済産業省地域産業基盤整備課 佐々木工業用水道計画官 ほか1名
総務省公営企業経営室 松尾課長補佐（代理：上野総務事務官）

次 第 開 会
議 題

- 1) 11月号の確認、1月号・3月号の編集について
- 2) その他

概 要

11月号を確認した。1月号の査読確認をした。また、事務局より平成30年度工業用水道事業研究大会報告その1などの掲載予定を報告した。3月号については工業用水道事業特集として、経産省、総務省、国交省に執筆依頼について説明した。

(2) . 1 ⑤編集委員会（第5回）

日 時 平成30年12月14日（金）15：30～17：15
場 所 日本工業用水協会 会議室
出席者 小泉委員長 ほか委員等 18名
オブザーバー 経済産業省地域産業基盤整備課 佐々木工業用水道計画官
総務省公営企業経営室 松尾課長補佐（代理：上野総務事務官）

次 第 開 会
議 題

- 1) 1月号の確認、3月号・5月号の編集について
- 2) 論文賞の選考について
- 3) 第54回研究発表会について
- 4) その他

概 要

1月号の確認を行い、3月号・5月号の査読担当委員を決めた後、論文賞の選考について、審議の結果推薦のあった1編が選考された。

第54回研究発表会について、推薦のあった2件の日刊工業新聞社賞候補について検討し、了解された。また、プログラムを編成し、担当座長を決定した。

(2) . 1 ⑥編集委員会（第6回）

日 時 平成31年2月14日（木）15：00～16：00
場 所 日本工業用水協会 会議室
出席者 小泉委員長 ほか委員等 17名
オブザーバー 経済産業省地域産業基盤整備課 笹本係長
総務省公営企業経営室 松尾課長補佐（代理：上野総務事務官）

次 第 開 会
議 題

- 1) 3月号の確認、5月号・7月号の編集について
- 2) 第54回研究発表会について
- 3) その他

概 要

3月号を確認した。5月号について日刊工業新聞社賞受賞記念講演、解説、総説のほか、平成31年度工業用水道事業研究大会座長役事業体の紹介・事業概要

の掲載及び第54回研究発表会発表論文の概要などの掲載予定を報告した。7月号の編集について検討を行った。

第54回研究発表会について、事務局から当日の流れを説明し、座長を担当する委員に依頼するとともに、他の委員の研究発表会への参加について確認をした。

(2) . 2 出版図書

- ① 会誌「工業用水」平成30年5月号～平成31年3月号 (No. 648～653)
- ② 会員名簿 (2018年度CD版)

(3) 工業用水道管・弁類等製造事業場の認定に関する事業

(3) . 1 工業用水道管・弁類等製造事業場の認定

事業体委員で構成される「管・弁類等製造事業場認定委員会」により、製造事業場の設備、検査法、品質管理等について審査を行った結果、下記11事業場を認定工場として承認した。

認定期限	認定番号	認定事業場名	認定の対象となる製品の名称
30・5・7	日工協認第57号	大成機工(株) 三田工場	水道用鑄鉄異形管
30・5・31	日工協認第49号	(株)清水合金製作所	水道用弁類全般
30・8・12	日工協認第42号	(株)清水鐵工所	弁類
30・9・20	日工協認第58号	日本ヴィクトリック(株) 神戸工場	伸縮可撓継手
30・10・13	日工協認第2号	(株)クボタ 京葉工場	ダクタイル鑄鉄直管 ダクタイル鑄鉄異形管
30・10・13	日工協認第3号	(株)クボタ 阪神工場	ダクタイル鑄鉄直管 ダクタイル鑄鉄異形管 ソフトシール仕切弁
30・10・13	日工協認第4号	(株)栗本鐵工所 加賀屋工場	ダクタイル鑄鉄管 ダクタイル鑄鉄異形管
30・10・13	日工協認第15号	(株)栗本鐵工所 堺工場	ダクタイル鑄鉄管
30・10・13	日工協認第29号	JFEエンジニアリング(株) JFE大径鋼管(株)	配管用アーク溶接炭素鋼鋼管 水輸送用塗覆装鋼管
30・10・13	日工協認第5号	日本鑄鉄管(株) 本社・工場/高崎工場	ダクタイル鑄鉄管 ダクタイル鑄鉄異形管
30・1・29	日工協認第26号	東亜外業(株) 東播工場	水輸送用塗覆装鋼管

(3) . 2 工業用水道管・弁類の委託検査

工業用水道において使用するダクタイル鑄鉄管、鋼管、硬質塩化ビニル管、弁類等の検収検査を(公社)日本水道協会に委託して行った。

(4) 工業用水道保険事業

平成27年度に創設した、工業用水道賠償責任保険及び工業用水道機械設備損害保険について、延べ24件の加入状況となっている。

- 工業用水道賠償責任保険 19事業体
- 工業用水道機械設備損害保険 5事業体